

## 重粒子線治療を受けた皆様へ（疫学研究に関する情報）

病気の原因の解明、病気の予防・診断・治療の改善、生活の質の向上などのために、人を対象として行われる研究のことを臨床研究といいます。より良い医療の発展のために、多くの患者さんに臨床研究にご協力頂くことが必要です。この研究では緑内障や網膜剥離など治療後の視力に影響を及ぼす変化について調べることで、視力を維持するにあたり重要となる因子を探ることを目的としています。

この研究は、脈絡膜悪性黒色腫に対する診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。このような研究では、文部科学省・厚生労働省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」により、対象となる患者さんのお一人ずつに直接説明を行い、同意を得る代わりに、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先：窓口」へご照会ください。

もし、詳しいことをお知りになりたい場合には、より詳しい計画書や関連資料を閲覧いただくことができます。また、個人情報保護法に基づく開示手続き等を希望される場合にはお申し出ください。

[研究課題名] 脈絡膜悪性黒色腫に対する重粒子線照射後の視力予後および晩期有害事象の検討

[研究機関] 放射線医学総合研究所 病院

[研究責任者] 辻比呂志

[研究の目的] 脈絡膜悪性黒色腫に対する重粒子線照射後の眼球の晩期有害事象の発生、および視力予後を画像所見および線量分布から予測する。

[研究の方法]

### ●対象となる方々

2001年4月～2016年4月に放射線医学総合研究所病院（及びその前身の重粒子医科学センター病院）において、重粒子線治療を受けた方

### ●利用する情報

診断、治療、経過観察時に得られた、診断名、年齢、性別、画像、線量分布、治療経過、臨床症状  
**2016年5月までに得られたデータを集計しますので、新たな質問や検査はありません。**

[個人情報の取り扱い]

### **お名前や個人情報が出ることは、一切ありません。**

利用する情報からは、お名前、ご住所など、個人を直接同定できる情報は削除します。また、研究成果は、解析した全体の数字として学会や学術雑誌で発表されますが、その際に個人名などが表に出ることは絶対にありません。（国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構放射線医学総合研究所個人情報保護規程に従い取り扱います）

**この研究にご自分のデータを使ってほしくない方、またはそのご家族は、2016年8月31日までにお申し出ください。**

この調査へのご自分のデータの使用をお断りになっても、不利益を受けることは全くありません。いつでもお断りいただけますので、その場合は、下記【問い合わせ先：窓口】にお申し出ください。

[問い合わせ先：窓口]

千葉県千葉市稲毛区穴川4-9-1

国立研究開発法人 量子科学技術研究開発機構 放射線医学総合研究所

倫理審査委員会事務局 電話：043-206-4709（平日9:00～17:00）

